

第12回全国障害者スポーツ大会「ぎふ清流大会」

バレーボール競技実施要領

1 競技規則

平成24年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本障害者スポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 チーム

(1) 聴覚障害者のチーム

ア チームの構成は、監督1名、コーチ1名、マネージャー（手話通訳者）1名及び選手12名以内とする。

イ 監督及びコーチが選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ選手として出場できない。この場合の選手人数は、選手を兼ねる監督及びコーチを含めて12名以内とする。

ウ 男女別にチームを構成する。

(2) 知的障害者のチーム

ア チームの構成は、監督1名、コーチ2名及び選手12名以内とする。

イ 男女別にチームを構成する。

(3) 精神障害者のチーム

ア チームの構成は、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名及び選手12名以内とする。

イ 男女混合でチームを構成する。

3 競技方法

(1) 試合は、聴覚障害者（男女別）、知的障害者（男女別）及び精神障害者ごとにトーナメント方式とし、3位決定戦及び交流戦を実施する。

(2) 全試合3セットマッチとし、2セットを先取したチームを勝ちとする。

(3) 1セット25点のラリーポイント制とする。なお、得点が「24対24」の同点となった場合、それ以降は、2点リードしたチームがそのセットの勝者とする。

(4) 第3セットは、25点制で行い、コートの変更はいずれかのチームが13点先取したときに行う。

(5) 試合は、ワンボールシステムで行う。

4 服装等

(1) 背番号は、1番から12番までが望ましい。やむを得ない場合は、1番から99番までとする。なお、チーム名、キャプテンマーク及び背番号等のサイズは、規定のものとする。

- (2) リベロプレーヤーを採用する場合は、他の競技者と区別できるユニフォームを着用すること。

## 5 試合球

- (1) 聴覚障害者及び知的障害者の試合球は、公益財団法人日本バレーボール協会検定5号球（人工皮革・カラーボール）とする。
- (2) 精神障害者の試合球は、公益財団法人日本バレーボール協会制定のソフトバレーボール球・糸巻き（円周78±1cm、重量210±10g）とする。

## 6 組合せ

組合せは、平成24年7月29日（日）に開催されるプログラム編成会議において、主催者が関係者立ち会いのもとに代理抽選のうえ、決定する。

## 7 開始式・表彰式

- (1) 開始式は、競技開始前に競技会場で行う。
- (2) 表彰式は、競技終了後に競技会場で行う。

## 8 その他

- (1) 監督会議は、平成24年10月12日（金）に行う。（時間及び場所は別途通知する。）また、監督会議の場において、申し合わせ事項を設けることができる。
- (2) 競技場内へは、大会役員、競技役員、競技補助員、情報支援ボランティア、実施本部員、選手、監督、コーチ、マネージャー及びあらかじめ許可された報道関係者、視察員等関係者以外は入ることができない。
- (3) 監督、コーチ及びマネージャーは、規定のマークを左胸部につけること。なお、未着用の場合は、ベンチに入ることを制限することがある。
- (4) 荒天時他不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において別途定める。

プログラム編成会議確認事項（7月29日）

1 コート割り当て

(1) 聴覚障害者の部（山県市総合体育館）

ア 男子 Aコート割り当てる

イ 女子 Bコート割り当てる

(2) 知的障害者の部（山県市総合体育館）

ア 男子 Cコート割り当てる

イ 女子 Dコート割り当てる

(3) 精神障害者の部（安八町総合体育館）

13日（土） A・Bの2コート割り当てる

14日（日） 準決勝までA・Bの2コート割り当て、交流試合はAコートを割り当てる。ただし、3位決定戦・決勝戦は特設コートにして実施する。

2 試合球（聴覚障害者の部、知的障害者の部共通）

ア 男子 モルテン製のボール（V5M5000）を使用する。

イ 女子 ミカサ製のボール（MVA300）を使用する。

ウ 混合 ミカサ製の糸巻きタイプのソフトバレーボール（MS78DX）を使用する。